

検討項目及び開催実績

1 当部会における検討項目

認知症の人と家族に対する「面的」仕組みづくり の具体化
 地域の人的資源・社会資源が参画したネットワークの構築により、認知症の人・家族を支える仕組みづくり

2 開催実績及び議題

【第9回仕組み部会】 日時：平成21年10月23日(金)15時～17時
 議題：仕組み部会の成果物について

成果物の概要

- 1 名称
 認知症の人と家族を支える地域づくりの手引書(仮称)
- 2 コンセプト
 都内の様々な地域が「認知症地域支援ネットワーク事業」のような仕組みに取り組むことを目指し、その取組みの参考となるものとする。

3 内容・構成

- モデル事業における取組の列挙にはせず、区市町村等が事業に応用できる、実施体制の「標準的モデル」を事業ごとに掲載
- 東京都における課題や強み、仕組み部会での議論を踏まえた、各事業についての「考察」を掲載
- 第2部第1章・第2章を総論、第3章以降を各論として事業ごとに章立てし、各論部分は、それぞれ サマリー(0.5頁)、 事業のメリット(0.5頁)、 標準的モデル(1頁)、 考察(3～4頁)、で構成

【認知症の人と家族を支える地域づくりの手引書(仮称) 構成】

構成	主な内容	強調したい点	加筆・修正を要する検討課題	
第1部 都内の認知症高齢者を取り巻く状況				
第1章 都内の認知症高齢者の現状	▶都内の認知症高齢者数 ▶在宅の本人・家族の状態像 ▶認知症高齢者のすまい方 ▶地域生活を支える資源の活用状況			
第2章 都の施策展開	▶これまでの施策検討の経過 ▶認知症の人を地域で支える仕組みづくりに向けた施策展開 ▶普及啓発に向けた施策展開			
第2部 認知症の人と家族が地域で安心して暮らせるまちづくりの進め方				
各論	第1章 認知症の人と家族が安心して暮らせる地域とは	▶認知症の人が地域で暮らすことの意味 ▶安心して地域で暮らせるために必要なこと 等	▶安心して暮らせる地域の3条件 (地域における認知症の理解 住み慣れた地域であることが生かされていること 地域資源の開発・活用)	▶地域における、第3章～第7章に示す各事業の関係と地域資源の関わり全体の全体像
	第2章 関係する諸法規について	▶認知症の人の権利保護について ▶個人情報の収集及び第三者提供について 等	▶自己決定が困難な人に対する権利保護についての考え方	▶法から見た「本人を中心とした支援」の考え方
	第3章 推進体制の組み方	▶ネットワーク会議 ¹ の効果、設置の流れ ▶地域特性に応じた推進体制構築のポイント 等	▶地域特性に応じたネットワーク会議の設置・運営のポイント	▶ネットワーク会議を中心に事業を進めるにあたっての適切なエリア設定 ▶ネットワーク会議に求められる機能 ▶町村部など小規模自治体における取組のポイント
	第4章 地域資源マップの作成	▶地域資源マップの意義、効果 ▶モデル事業を通じて作成した3種類のマップの比較 等	▶地域資源マップの作成過程で得られる効果と、配布・活用により得られる効果 ▶民間主体で取り組む場合の行政の関わり方(予算・調整)	▶モデル事業で作成した3つの地域資源マップについて、事業実施後の反響等を追記
	第5章 徘徊SOSネットワークの構築	▶徘徊SOSネットワークの構築のポイント ▶徘徊の広域化について 等	▶徘徊SOSネットワークの構築や模擬訓練を通じた、認知症の正しい理解促進と声を掛けやすい地域づくり	▶モデル事業では、実際の運用には至っていないため、記述内容に留意が必要 ▶参加することが適当な関係機関 ▶防災ネットワークなど、既存のネットワークとの連携
	第6章 家族会の育成支援	▶家族会の意義、効果 ▶家族会の立ち上げ支援・運営のポイント 等	▶「家族会の立ち上げ支援」「運営支援」の具体的方法について、ボランティア、行政、専門職のそれぞれの関わり方のポイント	▶家族会の立ち上げ支援・運営支援を行う自治体・民間団体等にとってのメリット ▶家族会に地域資源として期待されている役割
	第7章 介護保険事業者による地域活動	▶認知症支援拠点モデル事業の検証・分析 ▶地域の協力を得るためのポイント	▶介護事業者の専門職の力を活用することにより、新たな支援拠点を創出することが可能 ▶介護事業者に対する行政の支援が不可欠	▶介護事業者だからこそその「良さ」を、さらに強調すべき ▶「地域コーディネーター ² 」を置くことの意義、具体的な役割
参考資料・付録	▶認知症支援拠点モデル事業所要経費・人員一覧 ▶認知症生活支援モデル事業実施報告書 ▶認知症対策推進事業実施要綱 ▶認知症対策推進会議仕組み部会委員名簿 等			

【認知症の人と家族を支える地域づくりの手引書(仮称)に関するその他の意見】

- 図表・チャートを適宜挿入し、手に取りやすく、分かり易くする工夫が必要。
- 文中に「ネットワーク」という言葉が多用されており、意味がわかりづらい。定義付けを行い、文言の整理をした方がよいのでは。

1 事業の検討・進捗管理を行うために、住民代表・介護事業者・行政職員・医師等、各方面からの参画を得て構成する会議

2 認知症ケアの拠点作りを行うにあたり、近隣との連携や交流の窓口等の中心的役割を担うために介護事業者が指定する職員のこと